

全国

# 検数労連

第801号

〒144-0052 東京都大田区蒲田 5-10-2 日港福会館 5階

Tel 03(3733)5621 Fax 03(3733)5622

メール roren@knsu.jp

ホームページ http://knsu.jp/

 全国検数労働組合連合  
書記局

## 5月13日(火)10:30~12:00 第8回 検数労連25春闘交渉 両協会に賃上げの修正回答と諸要求の回答を求める。 諸要求回答では一定の前進が見られたが、賃上げの修正はされず。

5月13日(火)第8回検数労連25春闘交渉で、組合は賃金部分の修正回答と諸要求の回答を求め、交渉を行いました。

### 《全日検》

9日に開催された交渉のなかで、賃上げに関する回答を提示したが、組合から『要求との関係では低額である』として修正回答を求められた。その後、今日まで回答に対する修正を内部検討したが、現回答は企業として最大限努力した回答であり、これ以上の修正は困難を極めることをご理解願いたい。

### 《日検協会》

前回の交渉で賃金上げに関する回答を提示したものの、労組より要求との関係で不満を表明されて、持ち帰り検討した。しかしながら、前回の交渉時に提示した回答は米国の関税引き上げ等によって鉄鋼や自動車などの主要取り扱い貨物の減少等が懸念されるなか、見通し定かでない状況で従業員の生活改善を考慮した回答であることをご理解願いたい。

### 《諸要求回答》

25春闘諸要求に対する回答では、両協会ともにほぼ例年通りの回答に止まったものの、春闘協定等に基づき港湾産別継続課題である65才定年制の実施では2025年4月1日からの運用開始。(詳細については企業内協議を進める)ことや、時間外基礎分母を149時間に到達させるなど、一定の前進回答が見受けられました。

### 《組合主張》

組合は両協会の回答を受け、休憩を挟み検討した結果、次のような主張を行い次回交渉までに再度修正回答を検討するよう求めました。

### 《両協会に対し》

本日の交渉で金額が修正されなかったことは残念である。

賃金引上げについては、組合員の生活防衛である

とともに検数の事業基盤を安定させるうえで極めて重要な位置づけにあること。同時に組合員の仕事へのモチベーションを高め、人財の定着や離職率を低下させる面があることを強調する。

各地域から現賃金回答に対する不満の声が多く上がってきている。

職場からの強い不満の声や切実な生活実態を真正面から受け止めたうえで改めて諸物価高騰に見合う修正回答を強く求める。

港湾春闘協定に基づく65才定年制の実施表明については、前進回答として受け止める。詳細については、速やかに企業内労使協議を開催するよう求める。

その他、中央・地域の諸要求については、積極的に企業内労使協議の促進を図ること。

港湾春闘方針に基づく要求課題への対応については、現在、政府の価格転嫁施策に基づく料金収受、

石炭火力発電所の休廃止に伴う雇用対策など日港協や行政との間で課題解決に向けた意見交換を重ねている。特に中古自動車等の放射線量測定業務の見直しに向けた動きについては、検数事業に係る問題点を含んでいることから、労使共通認識のもと対応するよう求める。

人員採用の取り組みについては、現在求人募集しても定員割れを起こす企業も多くあるなど人員確保の厳しさを見せている。採用に向け、福利厚生面の充実や奨学金支援制度など企業の独自性を出すための求人方法を企業内労使で考えていく必要があることを強調する。

**次回交渉 5月15日(木)  
13:30~  
第9回検数労連25春闘交渉  
両協会に再度、修正回答を  
求めて交渉を行います。**